

指定管理評価表(小田南生涯学習プラザ)

令和2年3月31日現在

施設概要	尼崎市立小田南生涯学習プラザ(尼崎市長洲本通1丁目15-38) 開館時間:9:00~21:00 休館日:毎週水曜日、年末年始 施設設置目的:教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供 事業内容:小田南生涯学習プラザの使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	小田南生涯学習プラザの管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	56,352 人	80,509 人	82,438 人
	貸室稼働率	37.08 %	42.07 %	45.00 %
	自主事業開催数	25 回	65 回	52 回
	自主事業参加者数	1,378 人	1,776 人	1,470 人
所管課・所管課長名	総合政策局小田地域振興センター小田地域課・仁尾 克己			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	アンケートからも職員の対応など高い評価を受け、利用者のサービスの維持向上に日々取り組んでいる。自主事業の開催回数が前年度に比べ減少している点は、コロナの影響に加えて、赤字の自主事業について見直し・精査を行ったことによるものである。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		B	修繕が可能なものは直ちに対応するなど施設の維持管理に努めている。災害時対応マニュアルを作成し、年2回の自主消防訓練を実施している。また、個人情報保護法やハラスメント研修などの職員研修も実施している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		C	常に節電を意識し、設備の不備にも自主的に修繕を行うなど経費節減にも努めているが、具体的な計画や数値目標は設定していない。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		B	管理経費収支報告書からも特に指摘すべき項目はなく、適切な経営状況である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	書類や備品等は、適切に管理されている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・利用者アンケートの実施 ・地域がつながるネットワークの発信元となるような自主事業の継続実施 ・プラザの各種事業や貸室予約のPR方法として、チラシの作成や配布、掲示、地域ネットワークの活用やインターネットでの情報発信	・利用者アンケートでの職員の対応について高評価であり、窓口での丁寧な対応など利用者への積極的なサービス向上維持の取組みが感じられる。 ・多様な主体との協働事業で夏祭りを実施するなど、地域ニーズにあった事業展開をしている。 ・利用者にもいつも声がけをすることを実践し、事業案内の掲示やチラシの作成など、利用者にわかりやすく参加しやすい案内などに取り組んでいる。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	利用率が減少傾向にある中、自主事業については、昨年度の事業内容を検証しつつ、参加人数や地域住民のニーズにあった講座を実施するよう努めている。ほかにも利用者への窓口での対応など、利用者満足度向上に向けた積極的な対応にも取り組んでいる。管理運営面や経費削減については、きめ細やかな施設の点検や早期の故障箇所への対応などを行っている。以上の観点から、総合的に良好な管理運営を行っていると評価できる。令和2年度については、避難所設置にかかる体制づくりや効果的な庁舎の管理運営など、新小田南生涯学習プラザへの移転に伴い、臨機応変に対応していく姿勢が問われることとなる。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。